

教職員の皆さんへ

2学期を迎えるにあたって

日頃から、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、子どもたちの心のケアと学びの保障に努めていただいていることに感謝申し上げます。

特に、感染症対策のための毎日の健康観察や消毒、感染症対策を講じながらの学校行事や部活動・各種大会運営など、さらにはタブレットの導入に関わっての業務等で長期の疲労感がたまっていることと思いますが、子どもたちのために御尽力いただいていることに重ねて感謝申し上げます。

感染力の強いデルタ株の流行により全国的に感染拡大に歯止めがかからず、広島県も8月27日から9月12日まで「緊急事態措置」の対象区域となりました。

呉市も8月に入り感染が拡大しており、お盆明けからほぼ毎日児童生徒・教職員の感染が確認されています。感染された方々は、今のところ幸いなことに無症状或いは軽症であるとお聞きしており、一日も早い回復をお祈りします。

教職員の皆さんは、2学期を迎えるにあたって、感染症対策をはじめ様々な準備をする中で、何かと不安や疲れを感じていることと思います。

まず、御自身の体調管理に努めてください。風邪の症状や体調が悪いときは遠慮なくお休みください。そして、かかりつけ医等の早めの受診をお願いします。そのことが、児童生徒、同僚の方々及び御家族を守ることになります。また、御家族に体調不良の方がいる場合も同様です。

ワクチン接種が始まり、呉市においても、ほぼ半数の方がワクチン接種を終えられています。しかしながら、12歳未満の子どもは接種対象でなく、12歳以上16歳未満の子どもは、保護者の同意等が必要なため、接種率は低く、感染症対策をより徹底する必要があります。

2学期がスタートするにあたり、「国の衛生管理マニュアル」「学校における感染症対策チェックリスト」をもとに感染症対策を今一度徹底してください。そして、保護者の方々にも感染症対策を呼びかけてください。

また、感染した児童生徒、濃厚接触者になった児童生徒、コロナに感染するのが怖くて欠席する等不安を抱えている児童生徒、楽しみにしていた行事などがやむなく中止となりショックを受けている児童生徒の「心のケア」にも努めてください。

そして、新型コロナウイルス感染症に感染した児童生徒や教職員、その御家族に対する誹謗・中傷・差別等が絶対にならないよう指導をお願いします。

今後も教育委員会としても必要と思われる支援や措置を行っていきたいと思います。子どもたちのためにみんなが一つになって前に進んでいきましょう。

令和3年8月31日

呉市教育委員会
教育長 寺本 有伸